

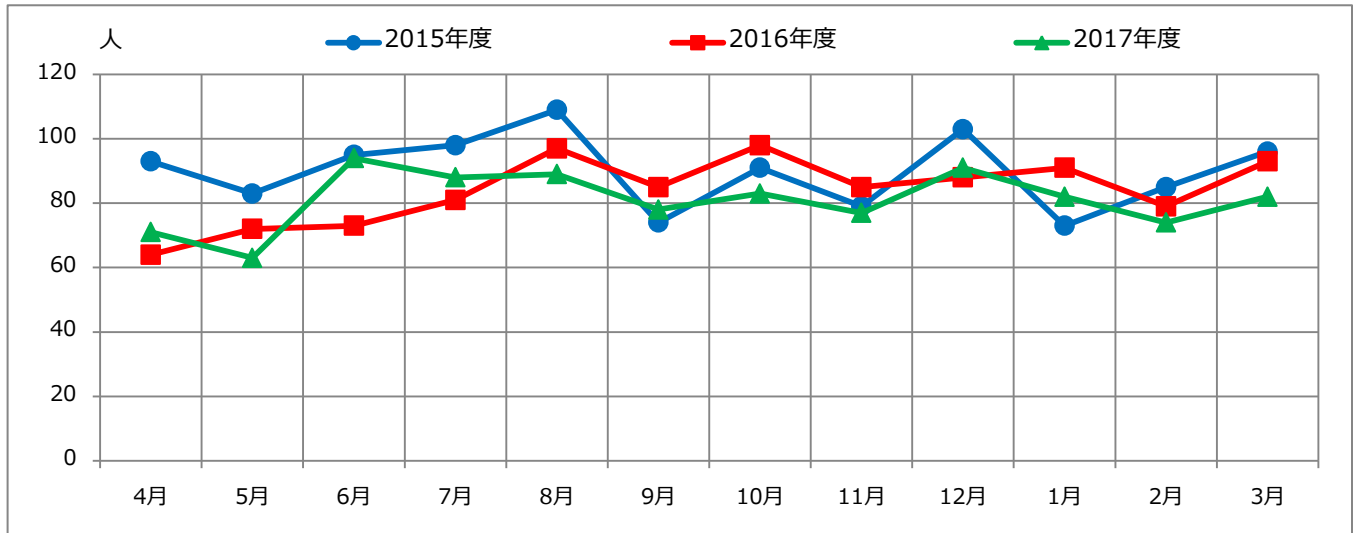
# I 病院全体

## 1 入院患者数

○ 1年間の新規入院患者数を表しています。

(人)

	2015年度	2016年度	2017年度
総数	1,079	1,006	972



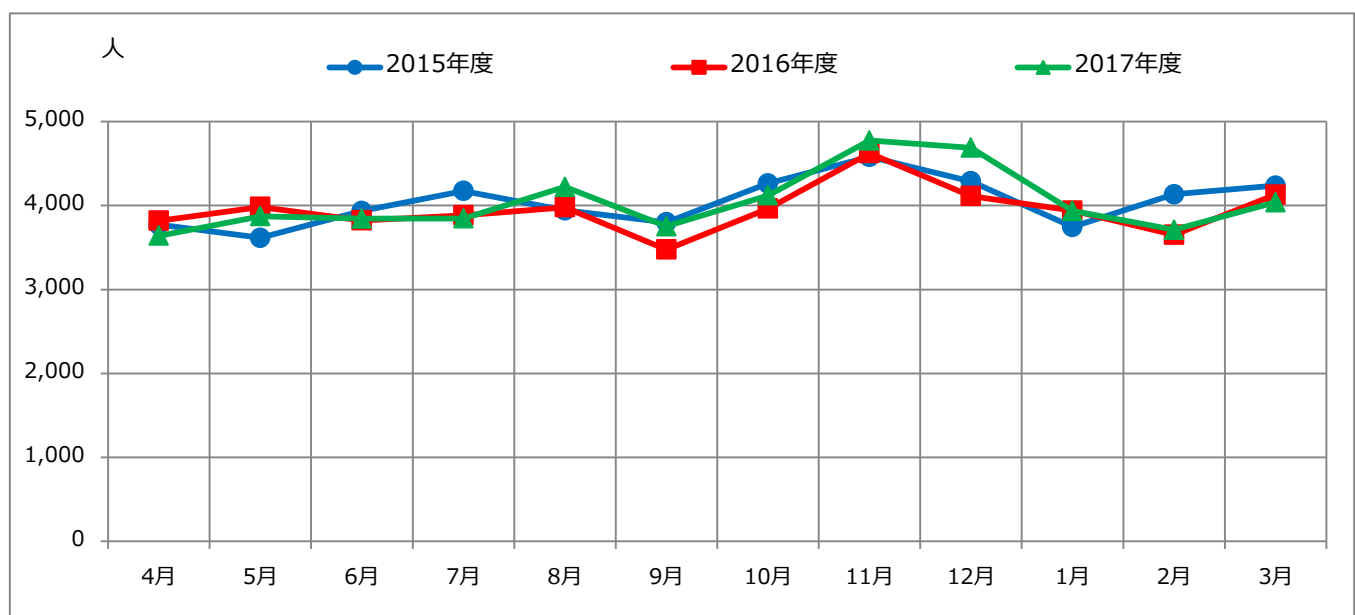
## 2 延外来患者数

○ 健診やドックを除く、1年間の外来患者数を表しています。

(人)

	2015年度	2016年度	2017年度
総数	48,491	47,393	48,449
1日平均	178.9	175.5	178.8

※1日平均は診療日数より計算

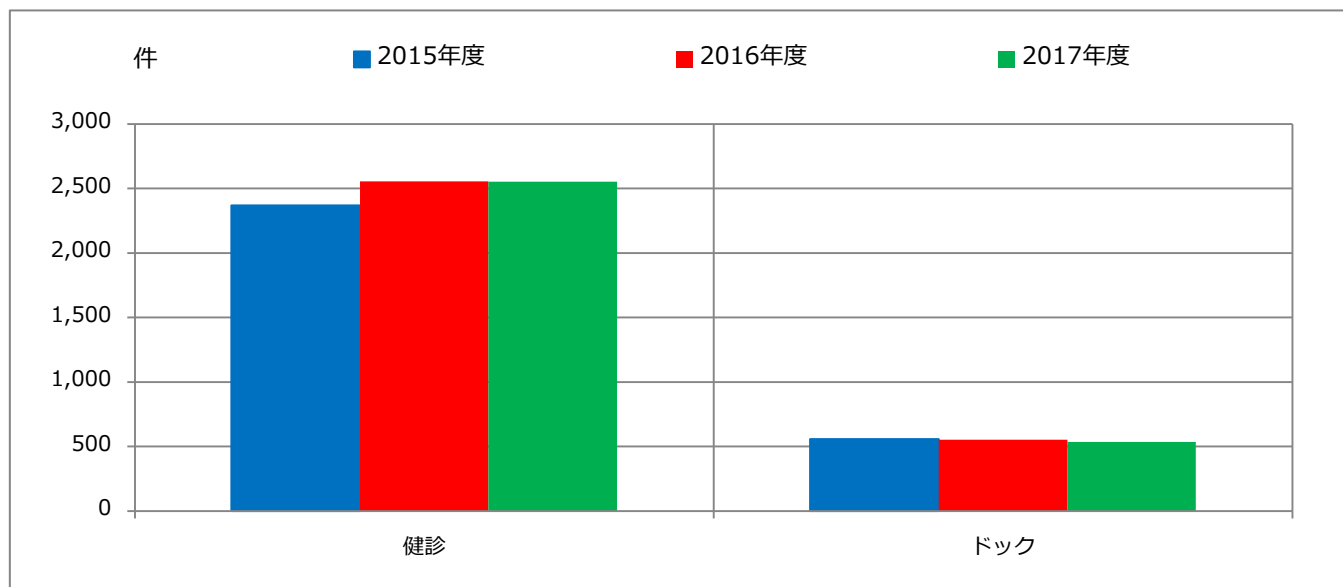


### 3 健診・ドック件数

○1年間の健診・ドック件数を表しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
健診	2,369	2,556	2,554
ドック	558	552	535



### 4 平均在院日数

○一般病棟（3階）に入院している患者さん1人につき、平均何日間入院されたかを表しています。

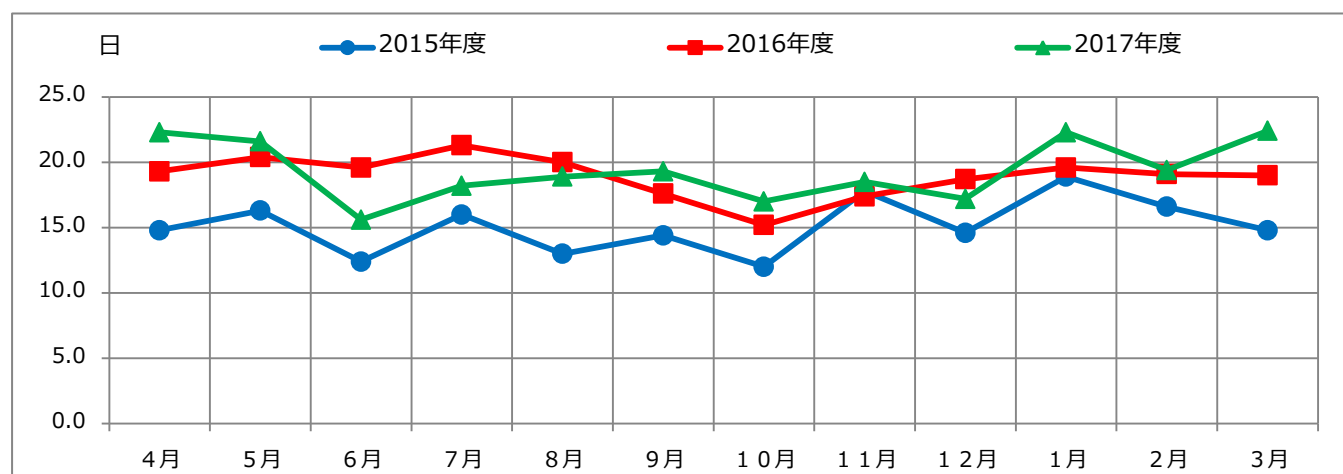
★計算方法

$$\frac{\text{当月在院患者延べ数}}{(\text{当月新規入院患者数} + \text{当月退院患者数}) \times 1/2}$$

(日)

	2015年度	2016年度	2017年度
年平均	15.0	18.8	19.3

※ 3階病棟へ在院した全患者対象



## 5 病床利用率

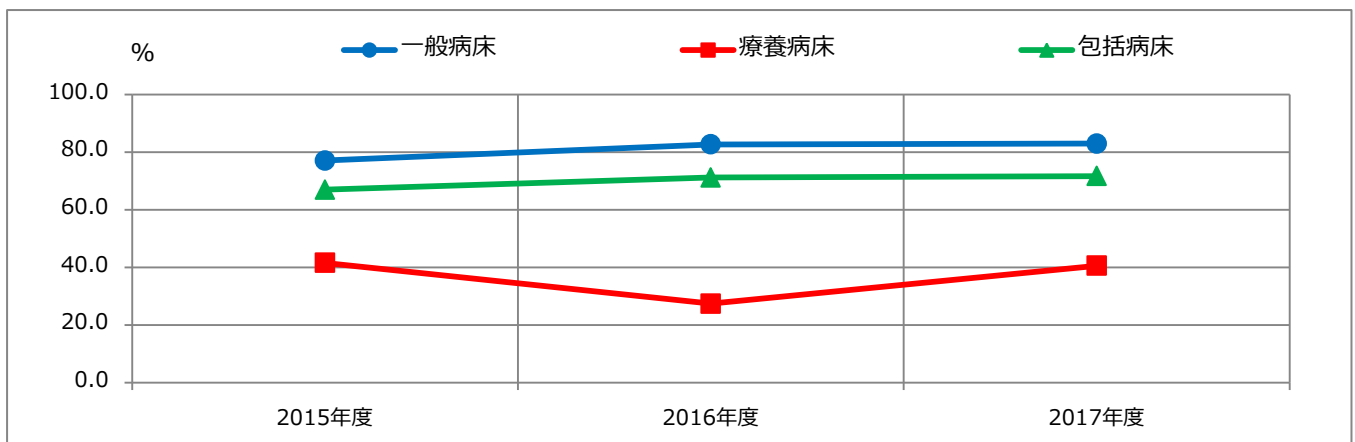
○病床数に対し、入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを表しています。  
割合が高いほど、ベッドを効率的に運用していることを示しています。

### ★計算方法

$$\frac{\text{延べ在院日数}}{\text{(日数} \times \text{病床数)}} \times 100$$

(%)

	2015年度	2016年度	2017年度
一般病床	77.1	82.7	83.0
療養病床	41.6	27.4	40.6
包括病床	67.0	71.2	71.7

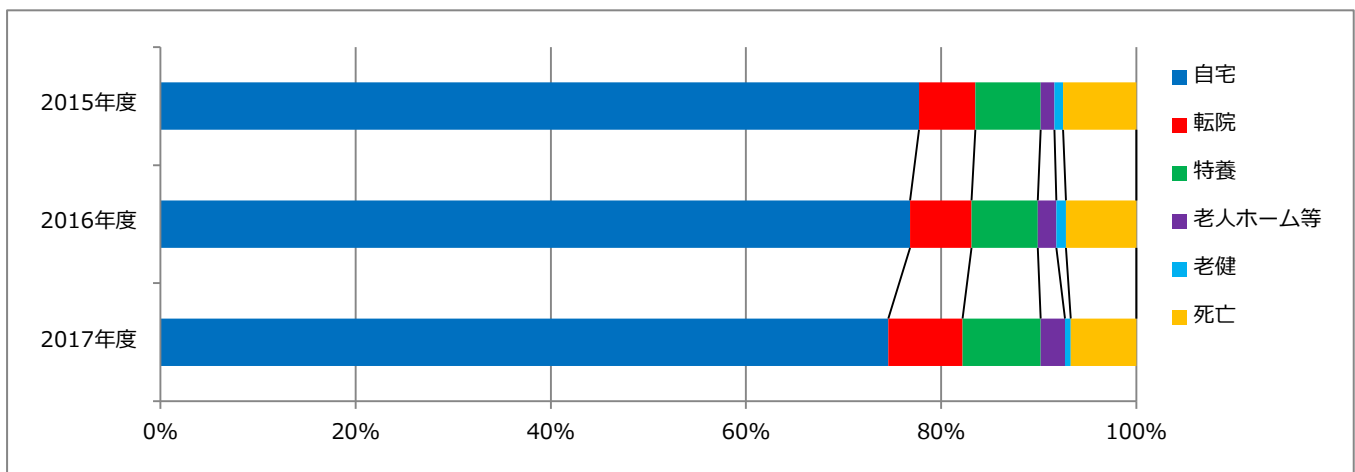


## 6 退院先別件数

○患者さんがどんな場所に退院されているかを表しています。

(件)

	自宅	転院	特養	老人ホーム等	老健	死亡
2015年度	851	63	73	15	10	82
2016年度	746	61	66	18	10	70
2017年度	722	74	77	24	6	65



## 7 褥瘡新規発生率

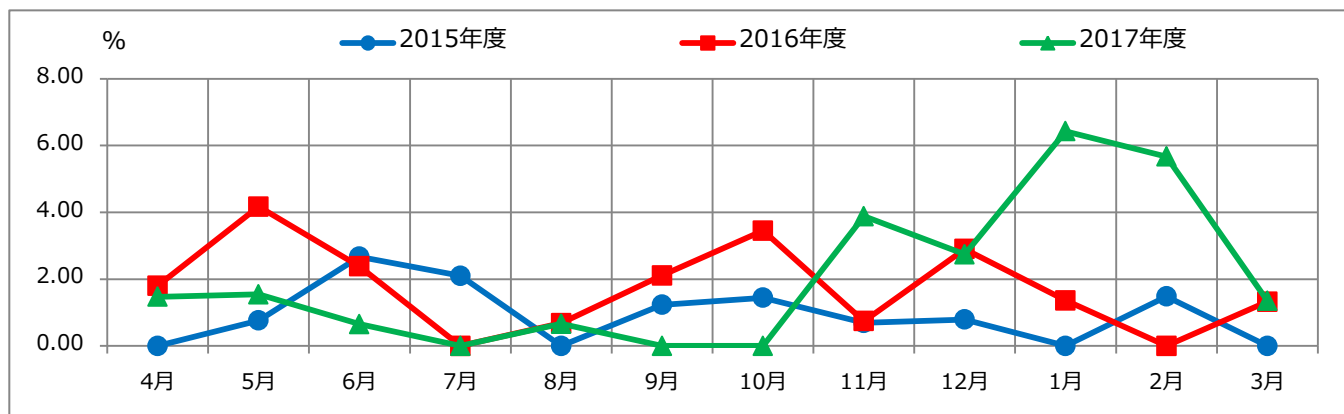
○褥瘡は患者さんのQOL（生活の質）の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど入院が長期に及ぶこともあります。当院では、皮膚排泄ケア認定看護師が中心となって、治療やケアを行っています。

### ★計算方法

$$\frac{\text{当月褥瘡新規発生患者数}}{\text{前月末在院患者数} + \text{当月新規入院患者数}} \times 100$$

(%)

	2015年度	2016年度	2017年度
年平均	1.47	2.69	4.14



## 8 クリニカルパス使用件数

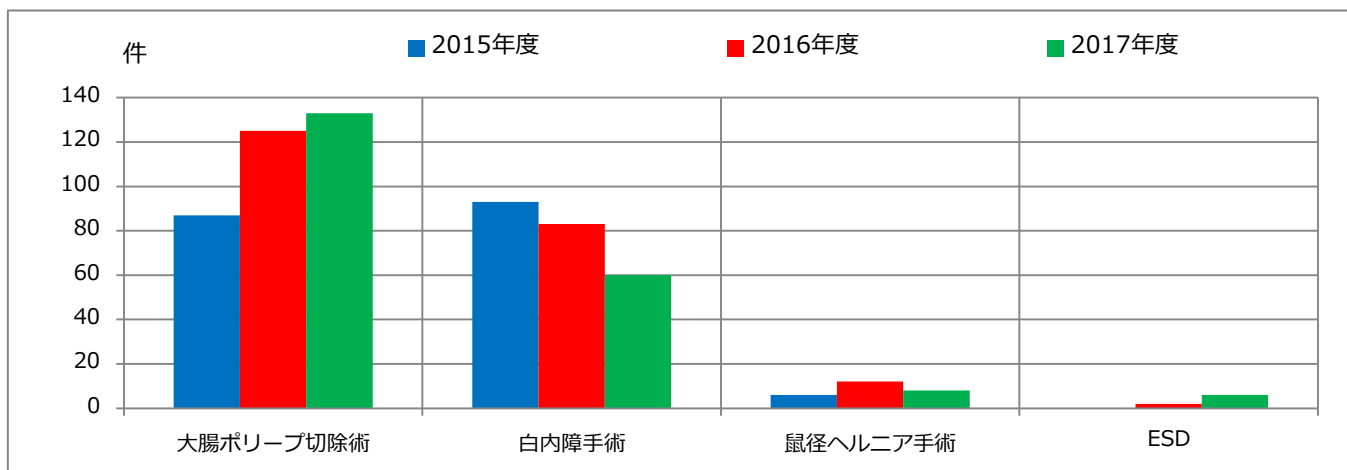
○クリニカルパスとは疾患毎に標準化された診療計画を表にまとめたものです。クリニカルパスの使用は標準的な医療の実践・チーム医療の推進に役立ちます。そして、クリニカルパスの評価と見直しを行い、医療の質の向上に繋がります。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
大腸ポリープ切除術	87	125	133
白内障手術	93	83	60
鼠径ヘルニア手術	6	12	8
ESD		2	6

※ESD=内視鏡的粘膜下層剥離術

※ESDパスは2016年度より開始



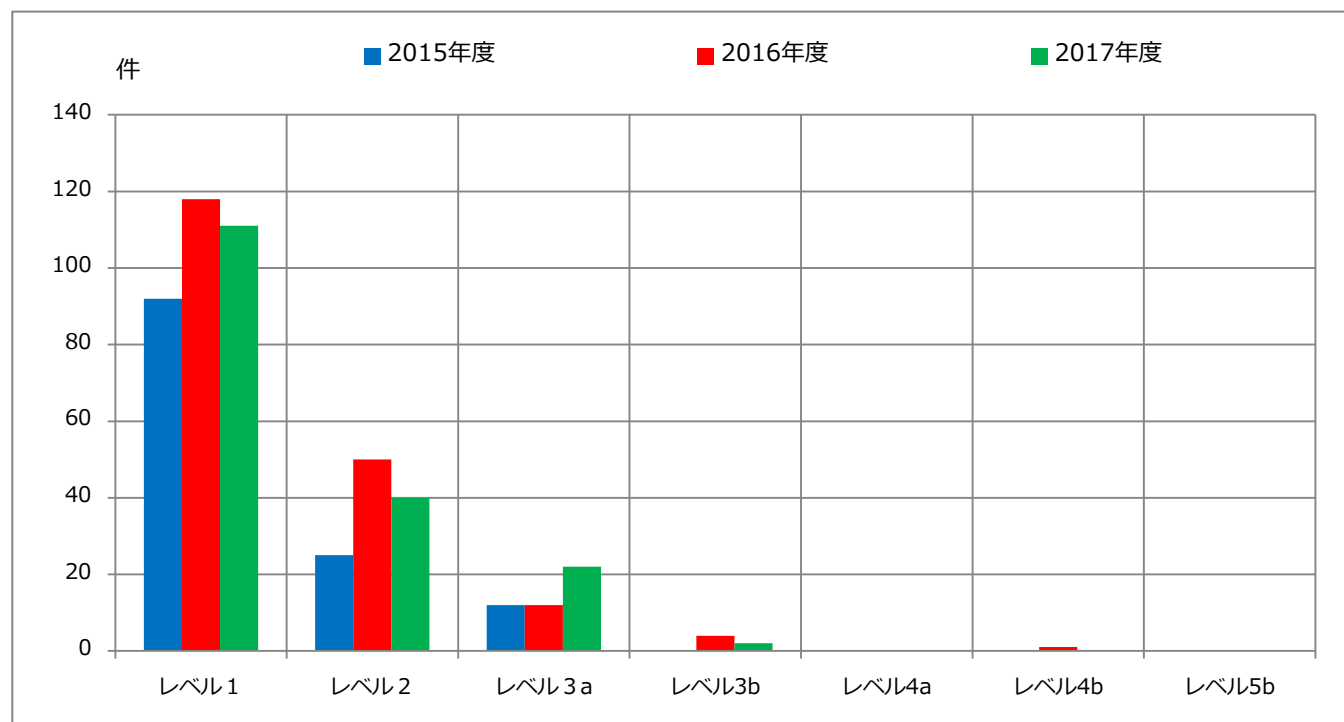
## II 医療安全

### 1 インシデント・アクシデント件数

○インシデントやアクシデントが全職員から報告される院内システムを整備し、報告事例について問題点や改善点を検討し、医療安全の向上に繋げています。

(件)

分類	影響度	内 容	2015年度	2016年度	2017年度
インシデント	レベル1	患者への実害はなかった。(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)	92	118	111
	レベル2	処置や治療は行わなかった。(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)	25	50	40
	レベル3a	簡単な処置や治療を要した。(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)	12	12	22
アクシデント	レベル3b	濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)	0	4	2
	レベル4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。	0	0	0
	レベル4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。	0	1	0
	レベル5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)	0	0	0



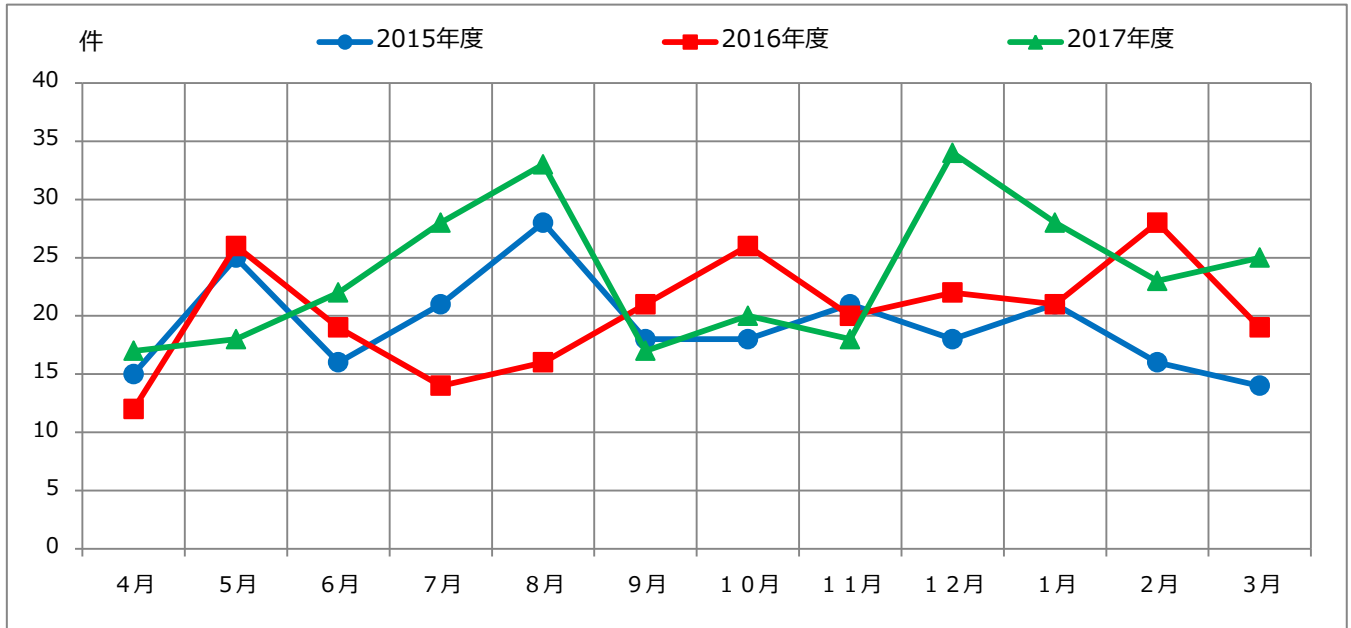
### Ⅲ救急医療

#### 1 救急車受け入れ件数

○ 1年間の救急車を受け入れた件数を表しています。当院では「救急車を断らない」を目標にし、地域医療へ貢献しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
総数	231	244	283



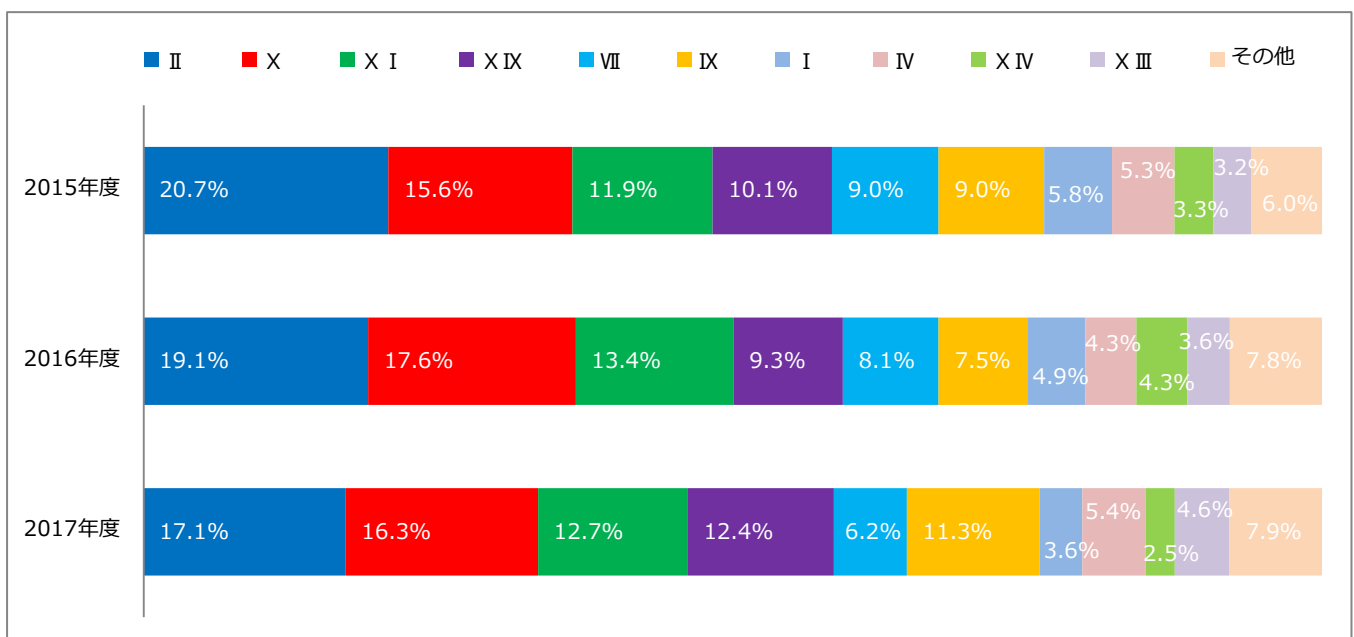
## IV 診療

### 1 疾病別退院患者数

○ 1年間の退院した患者の主病名をICD（国際疾病分類）に分類したものです。当院がどのような医療を行っているかを示します。

(人)

ICD大分類	2015年度	2016年度	2017年度
I. 感染症および寄生虫症	63	42	35
II. 新生物	227	185	166
III. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	11	6	7
IV. 内分泌, 栄養および代謝疾患	58	42	52
V. 精神および行動の障害	15	10	3
VI. 神経系の疾患	12	29	33
VII. 眼および付属器の疾患	99	79	60
VIII. 耳および乳様突起の疾患	7	9	16
IX. 循環器系の疾患	98	73	109
X. 呼吸器系の疾患	171	171	158
X I. 消化器系の疾患	130	130	123
X II. 皮膚および皮下組織の疾患	15	16	16
X III. 筋骨格系および結合組織の疾患	35	48	45
X IV. 尿路性器系の疾患	36	35	24
X V. 妊娠, 分娩および産じょく	0	0	0
X VI. 周産期に発生した病態	0	0	0
X VII. 先天奇形, 変形および染色体異常	1	0	0
X VIII. 症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	6	1
X IX. 損傷, 中毒およびその他の外因の影響	111	90	120

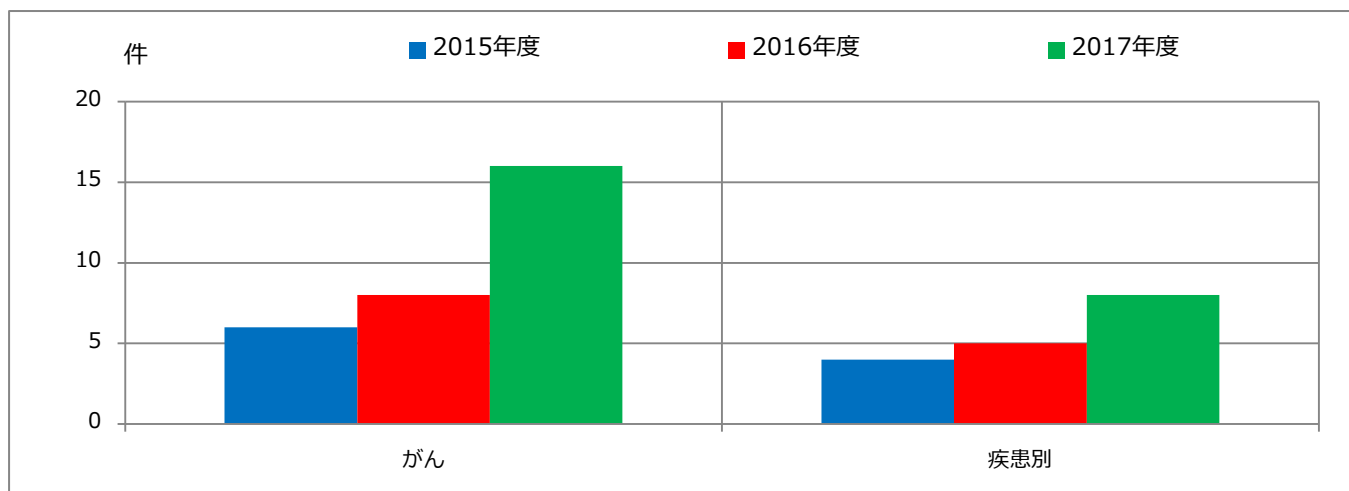


## 2 地域連携パス使用件数

○地域連携パスとは、地域内で各医療機関が共有する疾患毎の全体的な治療計画です。現在は、がん（胃がん、大腸がんなど）と疾病別（糖尿病、脳卒中など）があります。活用することで、医療資源を効率的に使い、地域医療完結型の医療体制の構築を目指します。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
がん	6	8	16
疾患別	4	5	8



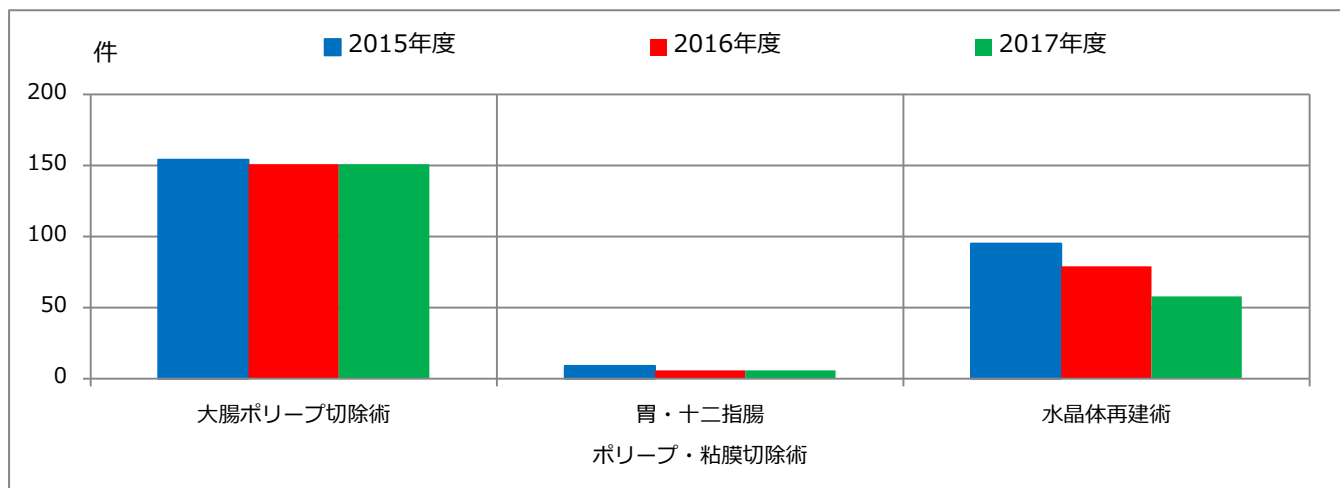
## V 手術

### 1 手術件数

○主な手術の実施件数を表しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
大腸ポリープ切除術	154	151	151
胃・十二指腸ポリープ・粘膜切除術	9	6	6
水晶体再建術	95	79	58





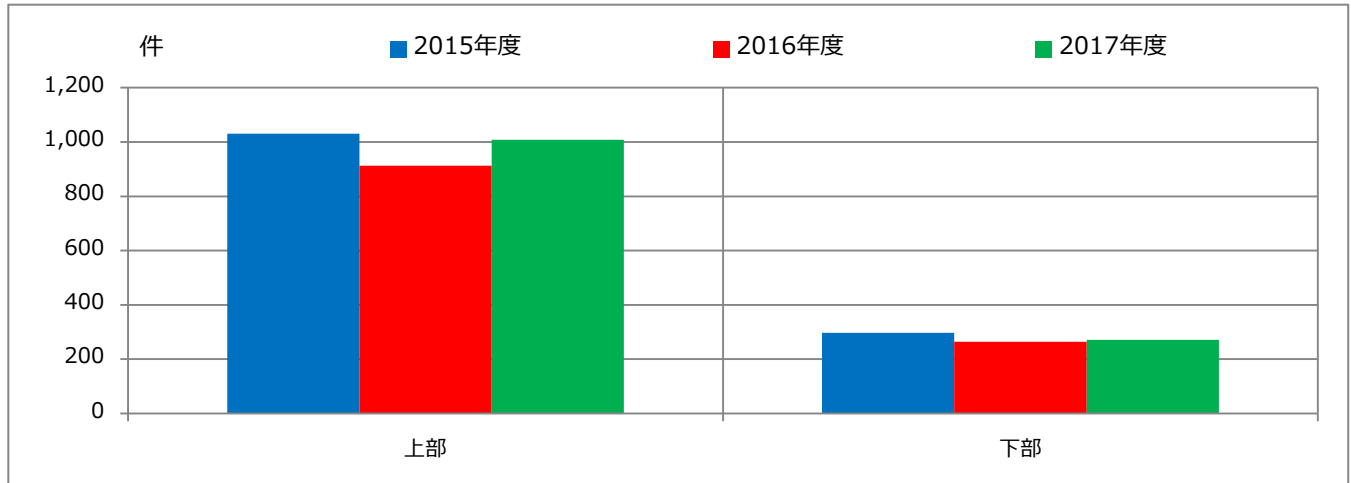
## VI検査

### 1 内視鏡検査数

○ 1年間の内視鏡検査数を表しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
上部	1,031	913	1,008
下部	297	264	271

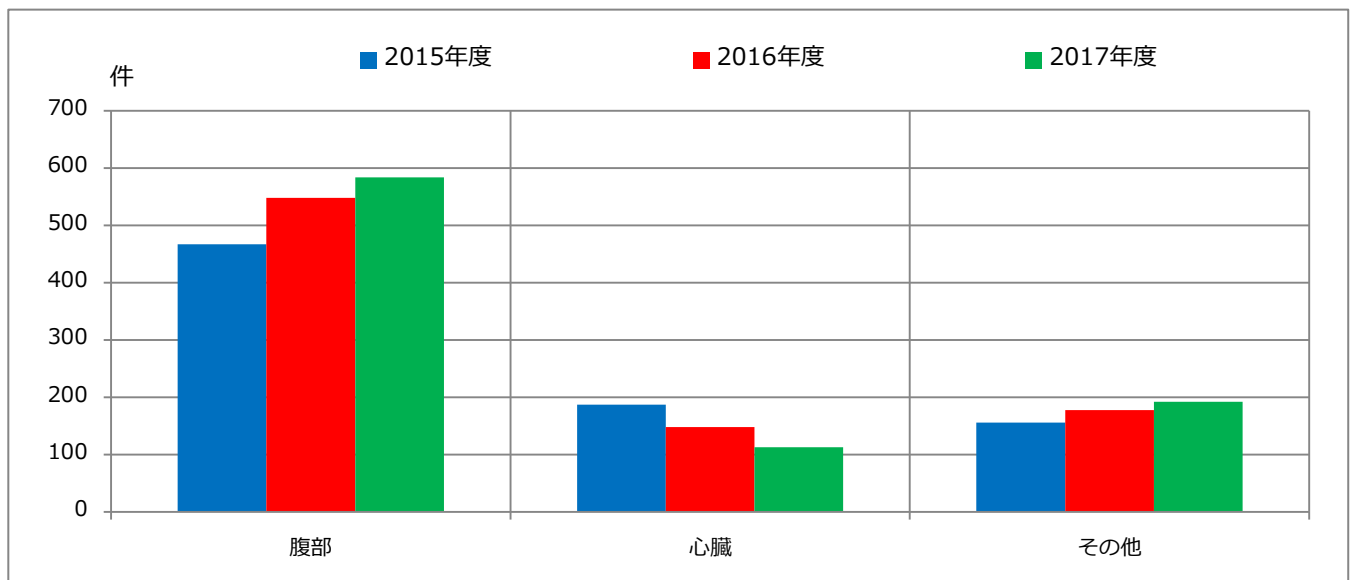


### 2 超音波検査数

○ 1年間の超音波検査数を表しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
腹部	467	548	584
心臓	187	148	113
その他	156	178	192

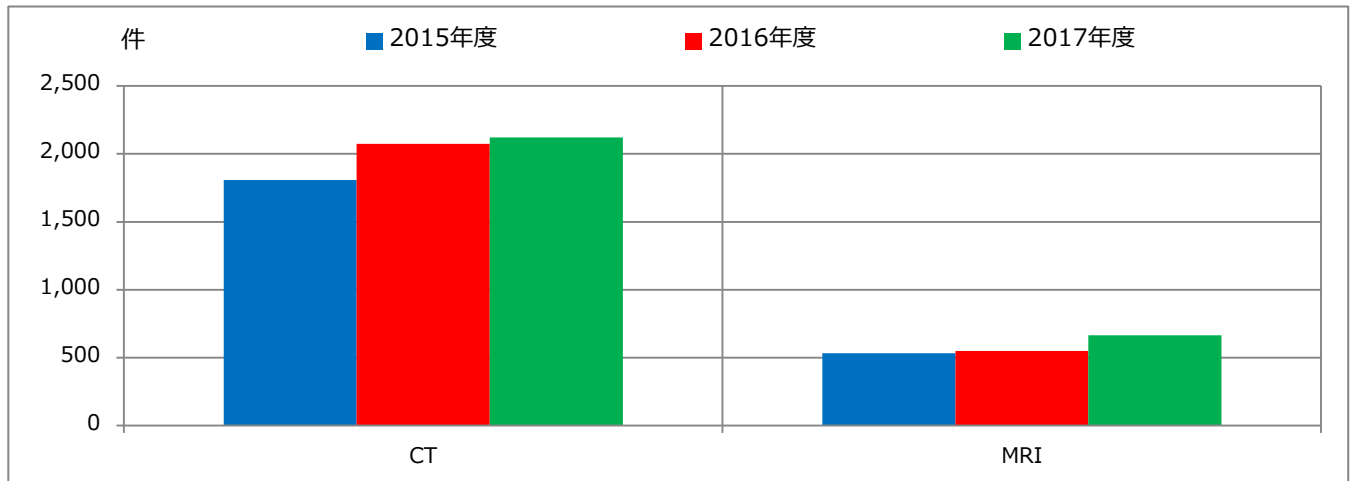


### 3 CT・MRI検査数

○1年間のCT・MRI検査数を表しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
CT	1,808	2,073	2,121
MRI	532	548	663



## VII 薬剤

### 1 服薬指導件数

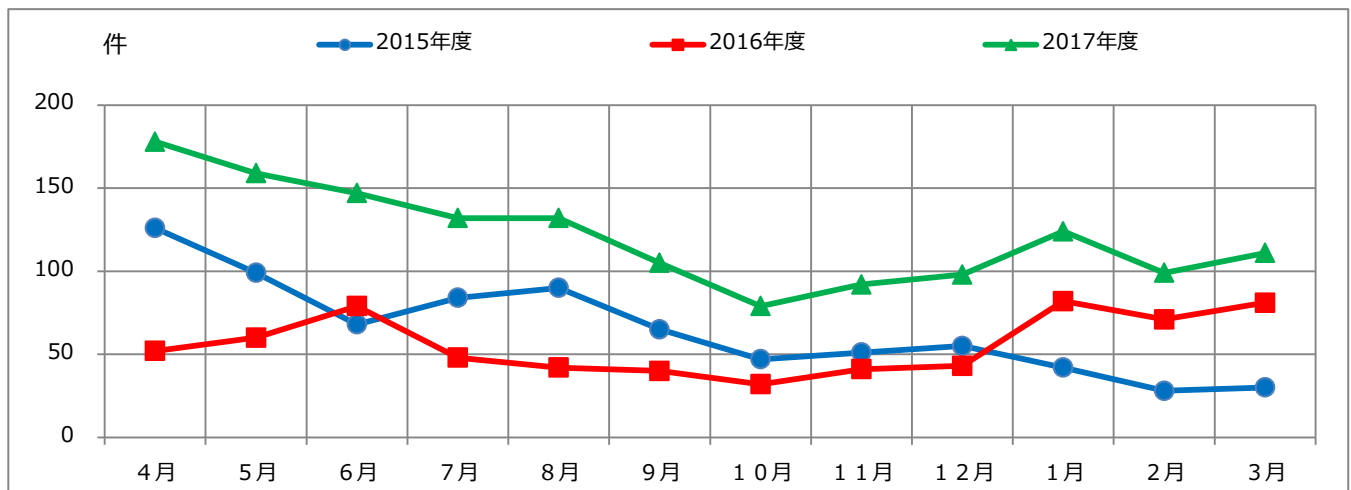
○医療技術の進展に伴い、薬剤の種類が著しく増加しています。そこで、専門家である薬剤師が薬歴などの情報を収集します。得られた情報を元に効果的な薬物療法を医師をはじめとするチーム医療に還元・提案していくことで、より高い治療効果が期待できます。

#### ★計算方法

期間内に入院中の患者に対し、服薬指導を行った件数の合計

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
総数	785	671	1,382



## 2 ジェネリック医薬品使用率

○ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）と同じ有効成分を使っており、品質、効き目、安全性が同等のお薬です。さらに、製品によっては服用しやすいように、大きさや味・香りなどを改良したお薬もあります。新薬に比べ開発費が少ないために、新薬より低価格なお薬です。

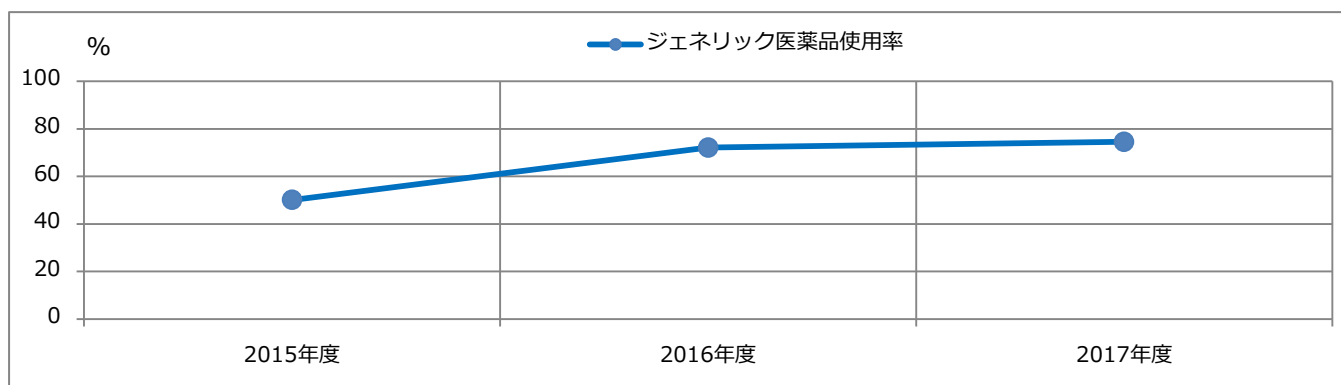
当院では、ジェネリック医薬品を積極的に採用し、使用しています。

### ★計算方法

$$\frac{\text{期間内に調剤したジェネリック医薬品の数量}}{\text{期間内に調剤した（ジェネリック医薬品のある先発薬品の数量+ジェネリック医薬品の数量）}} \times 100$$

(%)

	2015年度	2016年度	2017年度
ジェネリック医薬品使用率	50.1	72.1	74.5



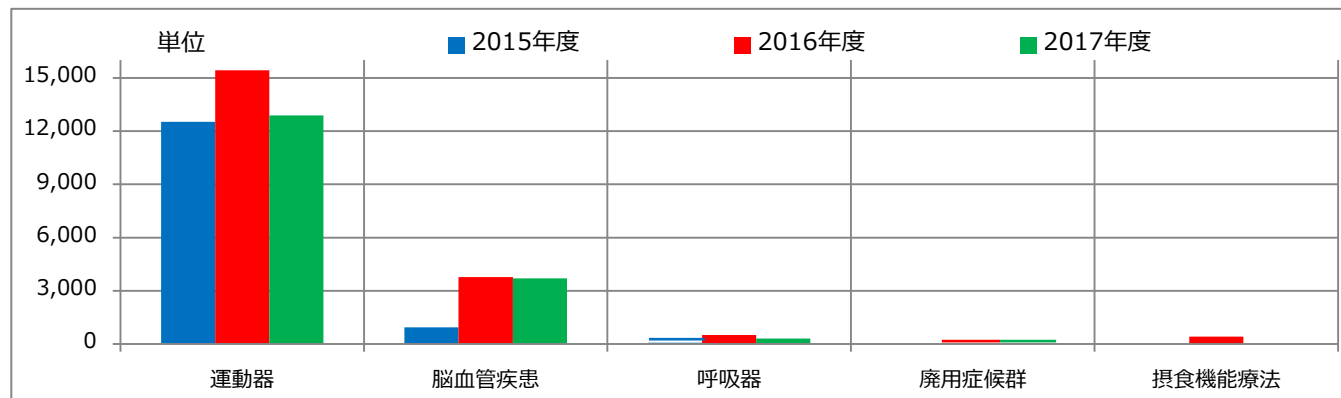
## Ⅷ リハビリテーション

### 1 疾患別リハビリテーション実施単位数

○1年間の疾患別リハビリテーションを実施した単位数を表しています。

(単位)

	2015年度	2016年度	2017年度
運動器リハビリテーション	12,524	15,428	12,892
脳血管疾患等リハビリテーション	941	3,769	3,698
呼吸器リハビリテーション	68	511	316
廃用症候群リハビリテーション	0	38	21
摂食機能療法	0	408	0



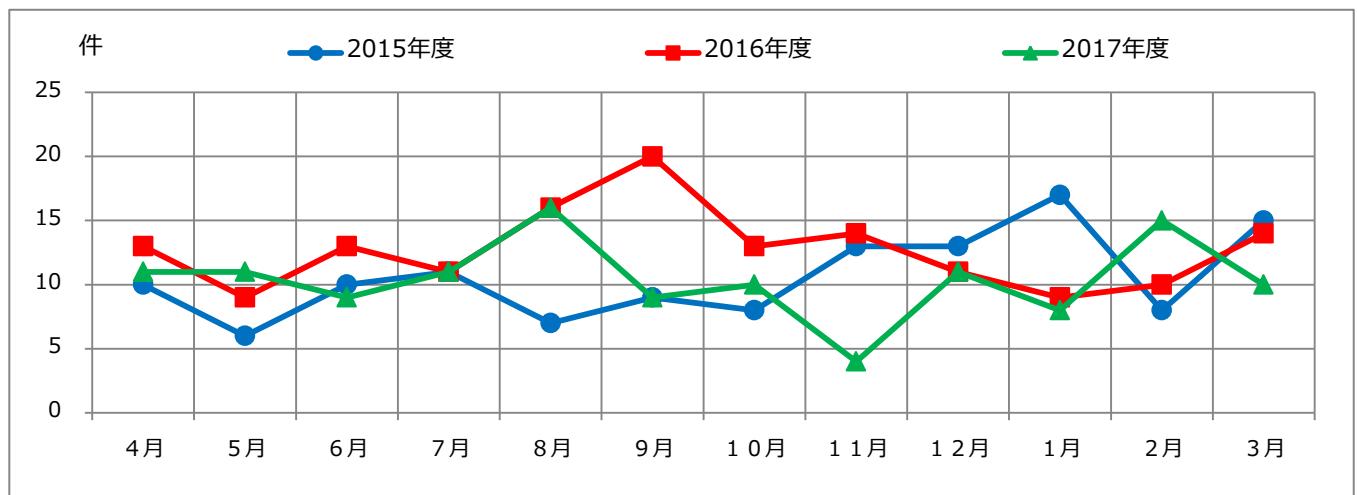
## IX 栄養

### 1 栄養指導件数

○管理栄養士が、患者さん1人1人に合った食事方法や摂取量などを提案し、病状の安定や改善に向けてサポートします。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
総数	127	153	125



## X 地域連携

### 1 退院支援・介護支援連携実施件数

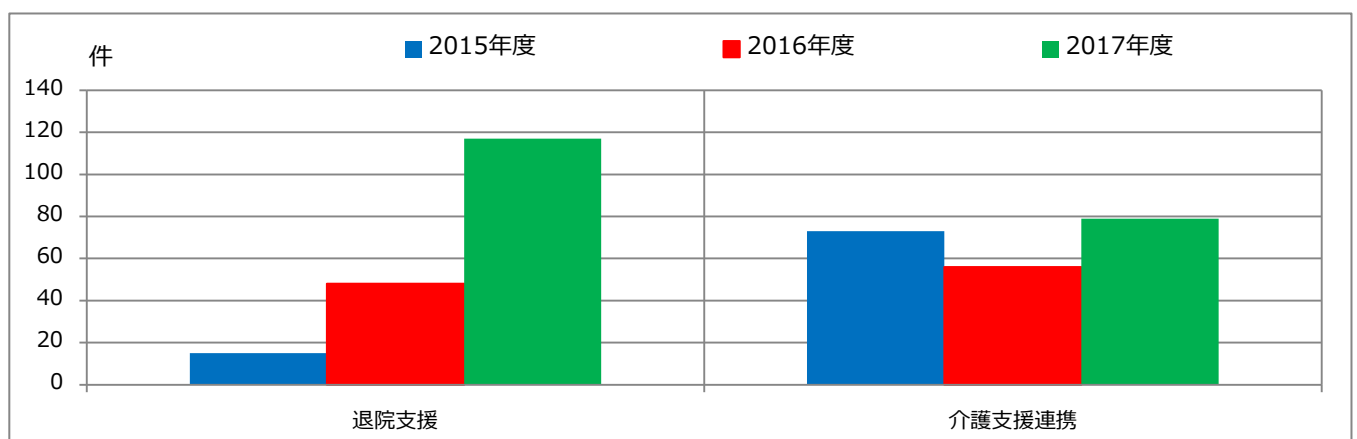
○患者さんやご家族と病状や退院後の生活も含めた話し合いを行います。そして、関係職種・関係機関と連携し、患者さんが安心・納得して退院され、住み慣れた地域で療養や生活を継続できるよう、努めています。

#### ★計算方法

期間内に関係職種・関係機関と連携し、計画書等を作成した患者数の合計

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
退院支援	15	48	117
介護支援連携	73	56	79

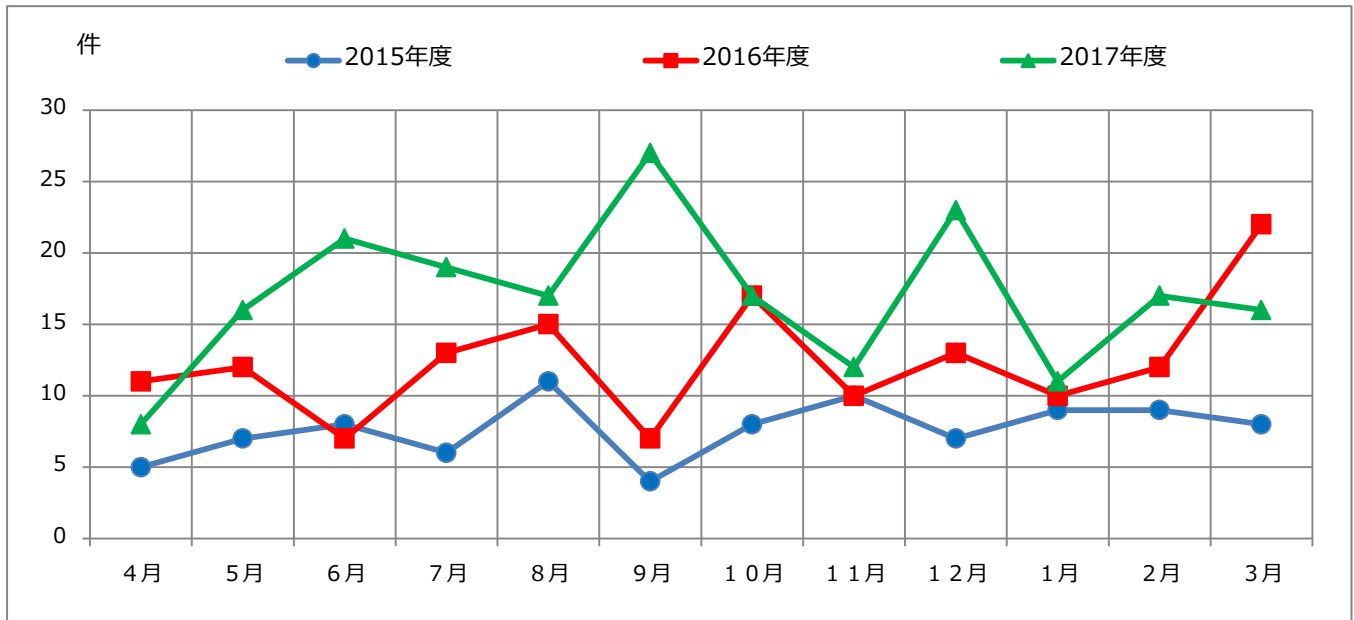


## 2 訪問看護指示件数

○訪問看護ステーションへ訪問看護を指示した件数を表しています。

(件)

	2015年度	2016年度	2017年度
総数	92	149	204



## 3 紹介率

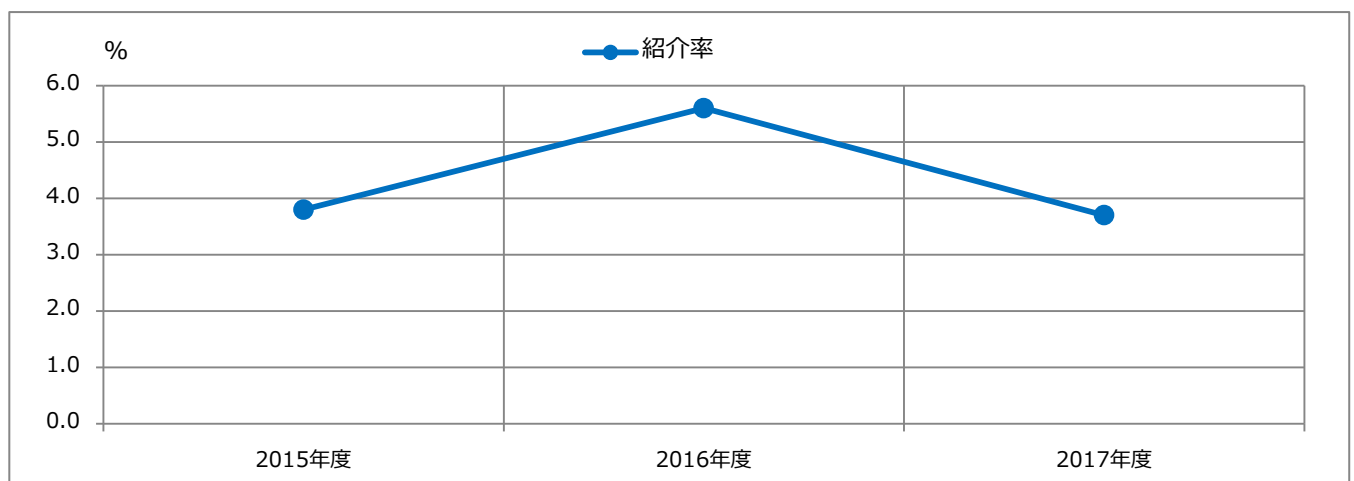
○高梁市立ではない他医療機関から紹介された割合を示します。

### ★計算方法

$$\frac{\text{期間内に紹介された初診料算定患者数}}{\text{期間内初診料算定患者数} - (\text{救急車搬入患者数} + \text{休日・夜間受診患者数})} \times 100$$

(%)

	2015年度	2016年度	2017年度
紹介率	3.8	5.6	3.7



## 4 逆紹介率

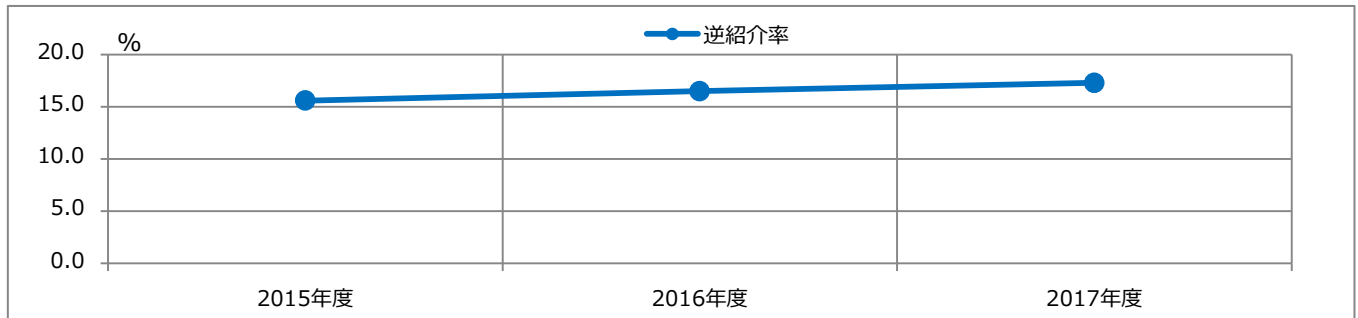
○高梁市立ではない他医療機関へ紹介した割合を示します。

### ★計算方法

$$\frac{\text{当月診療情報提供料算定患者数}}{\text{当月初診料算定患者数 - (救急車搬入患者数 + 休日・夜間受診患者数)}} \times 100$$

(%)

	2015年度	2016年度	2017年度
逆紹介率	15.6	16.5	17.3



## XI医療サービス

### 1 患者満足度調査

○当院が提供する医療サービスに対して、患者さんがどのように感じられているかを把握するために、患者アンケートを行っています。今後も高い満足度を維持し、医療サービスを向上できるよう努めていきます。

### ★計算方法

$$\frac{\text{患者アンケート総合評価の評価項目毎の件数}}{\text{患者アンケートの回答件数}} \times 100$$

	<外来> (件)			<入院> (件)		
	2015年度	2016年度	2017年度	2015年度	2016年度	2017年度
満足	42	54	29	27	29	28
ほぼ満足	43	23	26	17	16	17
普通	5	9	16	5	6	6
やや不満	3	0	1	0	0	2
不満	1	1	0	0	0	0
無回答	6	13	28	1	4	2

